

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2019 年 5月 22日

和歌山県知事

殿



提出者 ジオスター(株)橋本工場

住 所 和歌山県橋本市隅田町芋生86

氏 名 工場長 長塚 一彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0736-32-1255

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

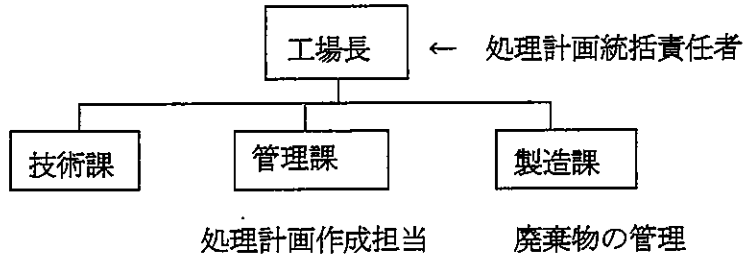
事業場の名称	ジオスター株式会社 橋本工場
事業場の所在地	和歌山県橋本市隅田町芋生86
計画期間	2019年4月1日～2020年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	中分類 窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 26億6697万円
③ 従業員数	133人 (ジオスター(株) 23人、協力会社 110人)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR     A[産業廃棄物] --&gt; B[選別]     B --&gt; C[委託処理]     C --&gt; D[再生利用業者で処理]             </pre>

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

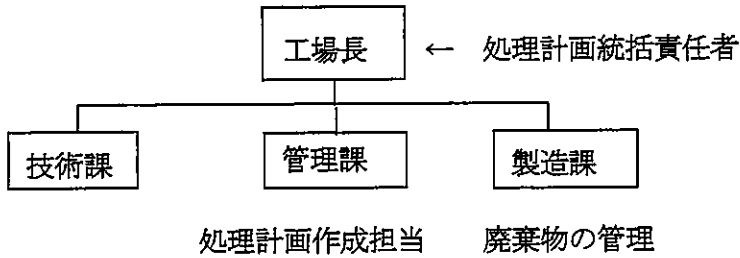
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	排出量	1,719 t	97 t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃棄物の分別の細分化 ・ 廃材木材置場の明確化、分別処理の推進 ・ 生コンクリート混練量の適正化による余剰コンクリートの削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	排出量	1,150 t	50 t
	(今後実施する予定の取組) ガラスくず等 : 生コンクリートの使用量を見極め、余剰コンクリートの削減を目指す。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) プラスチック類：軟質プラスチックとその他プラスチック類に分別処理している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類：プラスチックの分別の細分化を図り、委託処理業者も分けて処理し、削減を図る。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 ( 30 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず <sup>a</sup>	金属くず
	排 出 量	62.7 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃棄物の分別の細分化 ・ 廃材木材置場の明確化、分別処理の推進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず <sup>a</sup>	金属くず
	排 出 量	40 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 木くず、金属くず：有価物化を目指す。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず、金属くず：廃棄物と有価物とに分別。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず、金属くず：廃棄物と有価物との分別を継続し、有価物化を推進する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社に再利用施設なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現状に同じ		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社に焼却施設なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現状に同じ		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまでに自社で埋立処分又は、海洋投入を行ったことはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き埋立処分又は、海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	全処理委託量	1,719 t	97 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	8 t
	再生利用業者への処理委託量	1,719 t	89 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)  廃プラスチック類の細分化を行い、処理業者も分け、発生量の削減を図る。		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまでに自社で埋立処分又は、海洋投入を行ったことはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き埋立処分又は、海洋投入処分する予定はない。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	全処理委託量	62.7 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	62.7 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物と有価物との仕分けを推進している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	全処理委託量	1,150 t	50 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	6 t
	再生利用業者への 処理委託量	1,150 t	44 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
<p>廃プラスチック類の細分化を行い、処理業者も分け、発生量の削減を図る。</p>			
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	全処理委託量	60 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	60 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
<p>廃棄物と有価物の仕分けを徹底して、可能な限り有価物処理を行う</p>			
※事務処理欄			



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。